

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立東深井小学校
校長 泉 博

中学校区におけるめざす子ども像

自らすすんで学ぶ力を持った子 - 学びの基礎をつくる・学びをつなぐ・学びをさらに深める・自分らしい学びを深める -

令和7年度 重点目標

【本当の生きる力を身につけた児童の育成】 ～～楽しむこと！～～ そのために *ひとの嫌がることはしない、言わない！ *授業を大切に！

「確かな学び」の現状

R6 堺市児童生徒・学習生活状況調査によると、「授業中は学習に集中している」の肯定的回答が90%を超えている。

しかし、「自分で計画を立てて勉強している」は60%である。自らすすんで学ぶ力を身につけることが課題である。

「豊かな心・健やかな体」の現状

R5 総合学力プロフィールによると、「社会性」や「つながる力」の項目は85%が肯定的に答えている。

「外で体を動かすことは好きですか」についても85%が肯定的に答えている。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～1月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ意欲を高める授業づくり(小中グランドデザインをふまえて) 静謐な学習環境の整備 基礎基本の学力の定着 	★ペア、グループ学習を通して、友だちの考えと比較し、自分の考えと学びを深める。	「深井中校区グランドデザイン3校共通資料アンケート」の項目を比較する。	3校共通資料アンケート比較	年度末	児童アンケート94% (ペア・グループ学習を行っているか) 教員アンケート 90%	A	ほとんどの担任は、ペア学習に取り組んでいる。支援学級担任は、難しい時が多い。	A	静謐な学習環境のもと、基礎学力の定着に取り組んでくれている。
			●メリハリのある授業を展開し、基礎学力の定着を図る。	年度末の教員の振り返り。	年度末反省	年度末	教員アンケート 80%	B	「メリハリ」がわかりにくい。基礎学力も定着は低い。	A	
	図書館ICT	<ul style="list-style-type: none"> 読書センター機能 ⇒ 「読む力」の向上 学習センター機能 ⇒ 「調べ学習」の推進 ICT教育の推進 	教室に本を用意し、いつでも手に取れるようにする。読み聞かせ活動を行う。	入館児童・貸出冊数の経年比較	経年比較	年度末	R6 入管見数 15624人 R7 入館児童数 12442人	B	開館日が減少した。図書専門指導員が週3日となったため。また、朝の時間などは、タブレット練習にあてているため、児童は、本から離れている。調べ学習でもパソコンを使う頻度は増えている。低学年では、時間が短い。	A	指導者がいなくても開館できるようになればいいが、今の人員配置で、学校はよく頑張ってくれていると思う。
	すべての教科で本を活用し、調べ学習等主体的で深い学びをすすめる。	各教科における図書館の活用頻度	活用頻度比較	年度末	R6 貸し出し冊数 30606冊 R7 貸し出し冊数 24692冊	B		A			
	各授業でタブレットの活用を推進する。	使用内容・頻度	アンケート等	年度末	教員アンケート 週に7.5時間	B		A			
豊かな心	豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の推進 「あいさつ」＝他者との関わり、良好な人間関係の構築、規範意識の醸成 いじめのない学校づくり 	●道徳教育の推進 自己を見つめ、考えを深められるような学習活動を実施する。	授業中の児童の様子や、ワークシートをもとに研修等で評価していく。	道徳の授業(児童の様子等)	年度末	教員アンケート68%	B	実生活に返す授業内容が難しい。	A	あいさつはよくすると感じている。授業だけでなく普段から心の教育にも取り組んでくれている。いじめ問題にもアンテナを高くして取り組んでくれている。
			規範意識を醸成するとともに、学校内で進んであいさつができるような活動を行う。	あいさつする児童の割合	アンケート	年度末	児童アンケート81% 保護者アンケート83.5%	A	「あいさつ」について、本校児童は、素直で親しみやすい。家庭での協力のおかげだと感じる。	A	
			●いじめを許さない態度を育む。また、いじめ問題に対し迅速かつ組織的な対応をする。	学期1回、全児童にいじめアンケートを実施し、実態調査を行う。	いじめアンケート	年度末	児童アンケート84%	B	いじめに対して、相談できる人がいない場合もある。	A	
健やかな体	健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> 体力の向上 基本的な生活習慣の確立(歯の健康、食育) 	体育授業内に体づくり運動を積極的に取り入れ、運動量増加と筋力の向上を図る。	最新の新体力テストの結果から、個人の1年間の伸びをみる。	体育の授業内	年度末	男子は中学年において堺市平均に近いものが多く、平均を超えるものは少ない。女子は中高学年において堺市平均以下が多数みられた。	B	本校は、休み時間には、遊具で遊ぶ児童が多い。また、どんな時でも運動場で遊ぶことを推奨しているが、児童の基礎体力については、伸びが少ない。朝食喫食率は、高い。保護者の皆様のおかげです。	A	過度な制限はかけず、いろいろな遊びも取り入れ、授業以外でも体力アップを図ってくれている。朝食の喫食率が高いのはいいこと。
			健康な生活リズムを身に付けさせるために月1回「生活しらべ」を行う。	朝食喫食率の向上をめざす。	アンケート	年度末	児童アンケート93% 保護者アンケート94.5%	A		A	
安全な学校	安全な学校	<ul style="list-style-type: none"> 危険な行動への意識向上 危険を回避するための判断力・行動力の育成 	●校外での自他の安全に気を配り、心配りできる資質や能力を育てる。	学期に1回の安全学習週間	日頃の様子 安全点検表	年度末	各学年目標を80%達成している。	B	廊下を歩く児童が増えた。生徒指導をはじめ、先生方の取り組みが成果を出している。継続をしなければいけない。	A	過去の事故を風化させることなく取り組んでくれている。安心して任せられる。
			安全な場所への避難の時、自分の行動や他への心配りができる資質や能力を育てる。	避難訓練の実施	日頃の様子 避難訓練の様子	年度末	毎回、真剣に取り組んでいる。はんかちを忘れる児童がいる。	A		A	

校長より（年度末）

保護者・地域の方々と良好な関係を築き、保護者・地域・学校が手を取り合って子どもたちの教育に取り組めた。
子どもたちも大人の思いを受け止め、よく頑張ってくれたと思う。
この教育を継続していきたい。

学校関係者評価者から（年度末）

自己評価は控えめだが、よくやってくれていると思う。

来年度も引き続きよろしくお願ひしたい。